

ほめない・叱らない！

## アドラー心理学

～子どもの自立を促す子育て～

株式会社子育て支援  
代表取締役  
熊野 英一

株式会社  
子育て支援  
Childcare Support Inc.

〒106-0047  
東京都港区南麻布5-3-20 有栖川ビル2F  
Tel: 03-6450-4851  
Fax: 03-6450-4852  
URL: <http://www.happy-kosodate.jp/>  
<http://bonvoyage-tokyo.jp/>



The home of parenting & childcare  
bon voyage  
有 栖 川

株式会社  
子育て支援  
Childcare Support Inc.

講師 ご紹介:  
企業の人事部門 出身 外資&日系企業勤務、起業を経験した経営者  
アドラー心理学 × 保育サービス = 他社に無いユニークな価値提供



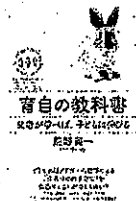
熊野 英一  
株式会社子育て支援 代表取締役  
bon voyage有栖川 代表  
アドラー心理学 カウンセラー  
日本アドラー心理学会 正会員



### <アドラー心理学>

- あらゆる人間関係の改善を扱う
- 上司・部下、親子、同僚間...
- 「自立」「プロフェッショナリズム」を求める生き方論を提示
- <親と上司の勇気づけ>の  
プロフェッショナルとして価値を提供

アドラー子育てで



### <保育サービス>

- 累計8万人以上の保育実績
- 待機児童問題解決型  
事業所内保育所運営
- 個人宅派遣ベビーシッター・サービス
- 人事出身の特性を活かしたサポート  
女性活躍推進・WLB・イクボス化推進...



アドラーとは、1870年から1937年まで生きた精神科医、アルフレッド・アドラーのことを指しています。

アドラーは1920年世界で初めて児童相談所を開設、当時の非行少年や親子をめぐる問題を治療と教育の中心に一つの理論を打ち立てました。

アドラー心理学の基本的な考え方(理論)の概略

1. 人間の行動には、その人の意思を伴う目的がある(目的論)
2. 理性と感情、意識と無意識、心と身体を分けずに全体で捉える(全体論)
3. 人間は、自分流の主観的な意味付けを通して物事を把握する(認知論)
4. 人間のあらゆる行動には、相手役が存在する(対人関係論)
5. 人間は、自分の行動を自分で決められる(自己決定性)
6. 人間は、共同体の中で所属感・信頼感・貢献感を求める(共同体感覚)

子育ての目的

子どもが「自立した大人」  
になれるように、  
サポート(援助)すること

子育てに迷いが生じたら、  
「これは、子どもの自立に役立つことなのか？」と  
確認してみましょう

求められる資質

- 勇気
- 責任感
- 協調精神

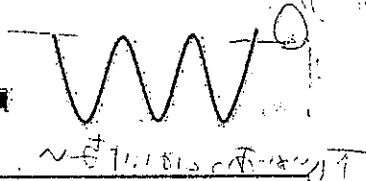
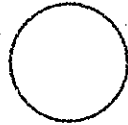
- ◇ 充分に愛されている
- ◇ ありのままを認めてもらっている
- ◇ いつも励まされている

- ◇ 自尊感情
- ◇ 自己肯定感
- ◇ いまの自分でOK!

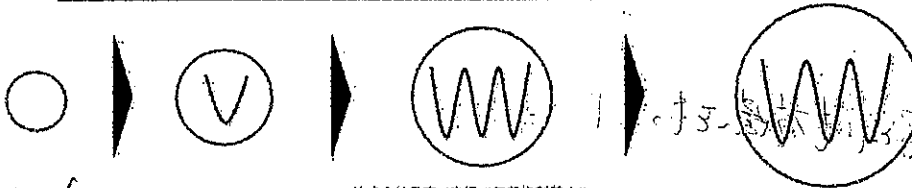
- ◇ 「勇気」=「チャレンジ精神」が育つ
- ◇ なんでも挑戦！失敗しても大丈夫！
- ◇ 子どもの可能性が広がる  
(受験、学業、スポーツ、芸術、就職、結婚...)

支配的＝自由なき制限

放任的＝制限なき自由



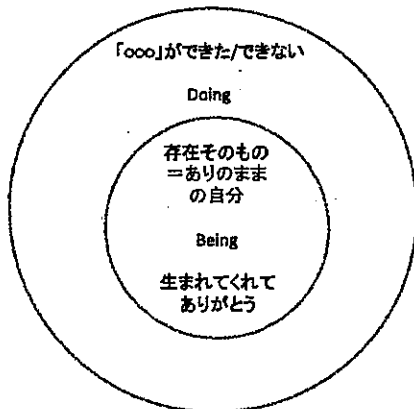
行動的＝制限の中の自由  
→ 「いいとこ取り！」  
→ 成長に従って、「制限」と「選択の自由度」を広げていこう！



17/11/24

株式会社子育て支援<無断複製禁止>

5



何かに挑戦して、うまくできたら、、、

→ 拍手！ Wow！

でも、行動の結果を「評価」するだけでは  
子どもの「こころ」は満たされません

その子の「ありのままの自分」を、  
日頃から認める

→ 「さりげない承認」が、とても重要です！  
→ 言葉がけ、ハグ、話を聴く、色々な方法で  
「その子の存在を認める」表現をしよう！

子どもの「こころ」が十分に満たされていると、  
子どもの行動が肯定的になり、  
親を困らせる否定的な行動が減ります

17/11/24

株式会社子育て支援<無断複製禁止>

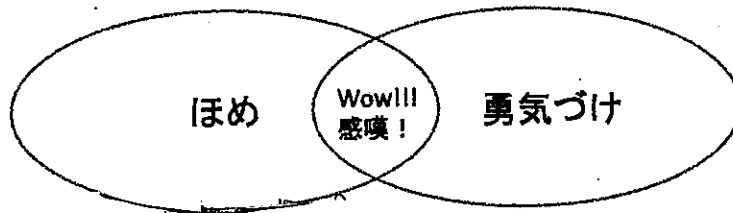
6

「ほめ」の大前提

- 常に上から目線
- どうせ、できないと思ってた
- コントロールしよう
- 結果が出たときのみ使える

「ほめ」の副作用

- ほめられないと、やらなくなる
- ほうびがエスカレートする
- 失敗を恐れるようになる
- 自信を失っていく
- 指示待ち人間になる



叱る(必要な時もあるけれど)

- 「叱る」ことが必要な時もある
- ルールを守れなかった時
- 暴力、いじめ、差別、犯罪 etc.

「叱る」の副作用

- やる気を失う
- 積極的に行動できなくなる
- まさに、勇気くじき




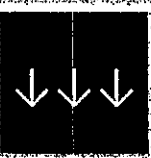




感情的に怒ることは、百害あって一利なし

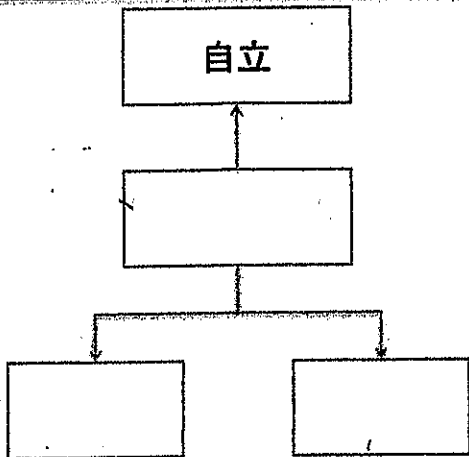
では、どうやって感情をコントロールする？

そもそも「怒り」という感情を意図的に使っている  
あなたの目的は？

「勇気をくじかれた子ども」の行動の目的はどう変化していくか？

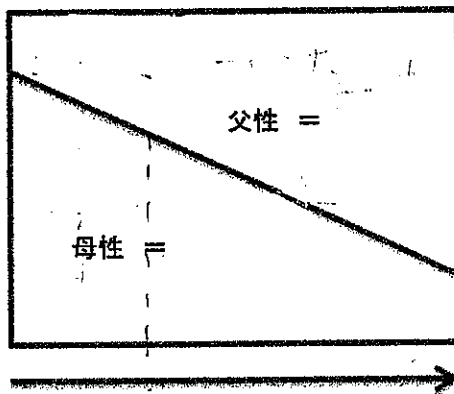
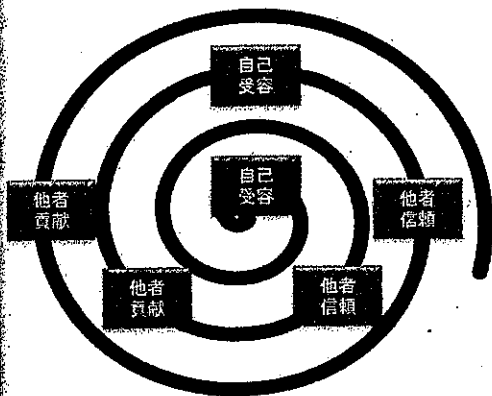
1. 不適切な注目
2. 反抗
3. 復讐
4. 無気力

親の 反応 / 子の 行動	正の 注目	負の 注目	無視	注目 しない
適切 な 行動				
不適切 な 行動				



アドラー【幸せの3条件】

1. 自己受容
2. 他者信頼
3. 他者貢献



子どもの「自立」を望むなら、  
母性を 的に して、父性を 的に そう